

長崎の林業

小曾根星堂書



日本の名松百選 姫の松原（小値賀町）

1

目次

| | |
|-----------|--|
| ●林政だより | 長崎県産材サプライチェーンマネジメントの取組……………2～3 |
| ●特集記事 | 地域林政アドバイザー奮闘記……………4～5 |
| ●林業普及だより | 俺たちが新時代を伐り拓く！ 第1回ながさき伐木チャンピオンシップ （安全・伐木競技会） …… 6 |
| ●地方だより・県北 | 小値賀町の松林保護の取組……………7 |
| ●地方だより・島原 | 令和3年度 長崎県優秀工事知事表彰 田平地区緊急予防治山工事（星野建設株式会社） …… 8 |
| ●林業団体情報 | 「緑の雇用」事業 「森林の仕事ガイダンス」を開催しています……………9 |
| ●センターだより | 春の七草 ～古き良き風習と山の恵～……………10 |
| ●紹介コーナー | 株式会社agrume(アグリユーム)……………11 |
| ●長崎の山と森 | 虚空蔵山608.5m（東彼杵町・川棚町） ……12 |

「長崎の林業」は、ながさき森林環境税により発行しています。



2022 No.796

木づかい推進で地球温暖化を防止しよう！

ながさき森林環境税の取組についてはこちら→



森林ボランティアに興味のある方はこちら→



FREE

ご自由にお持ち下さい。

「長崎の林業」はこちらからもご覧いただけます→



林政だより

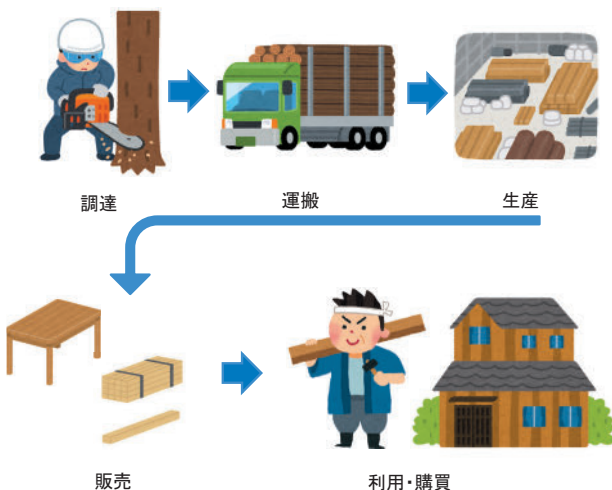
長崎県産材 サプライチェーンマネジメントの取組



木材のサプライチェーン

私たちが利用する商品や製品の多くは、さまざまな原材料や部品などを組み合わせて製造され、販売店などを通じて私たちの手元に届いています。このような、商品や製品が消費者の手元に届くまでの、調達、製造、在庫管理、配送、販売、消費といった一連の流れのことをサプライチェーンといい、この「物流」を需要や供給などの「情報の流れ」と結びつけ、サプライチェーン全体で情報共有・連携を行い、流通全体の最適化を図ることをサプライチェーンマネジメント（以下、SCMという）といいます。

木造住宅に使用されている柱や、合板などの木製品も、山で伐採されてから丸太として運ばれ、原木市場、製材工場、合板工場、製品市場、プレカット工場など、多くのプロセスをたどって、実際に利用される場所まで運ばれています。



木材流通のイメージ

林業・木材業界では、山で丸太などの生産に関わる事業者を「川上」、丸太の流通や製材に関わる事業者を「川中」、住宅建設などで木材を使う事業者を「川下」とよび、川上から川下まで含めて木材のサプライチェーンと捉えています。

県産材のSCM推進の取組

木材は川上と川下との距離が遠いことから、需要側、供給側の情報が相互に届きにくいことが課題です。また、長崎県は離島半島が多く運搬コストの低減やロット拡大が課題となっています。

このような課題を解決するため、県内の川上から川下までの事業者で構成する「長崎県地域材供給倍増協議会」は、令和元年度から林野庁事業「効率的なサプライチェーンの構築支援事業」の採択を受け、「長崎県SCM推進フォーラム」を立ち上げてサプライチェーン構築に取り組んでいます。

取組1年目となった令和元年度は、情報交換会、先進地視察、中間土場実証試験などを行い、長崎県における木材サプライチェーン構想案を作成しました。

令和2年度は、情報交換会などを行うとともに、主に中間土場実証と県産ヒノキ合板の製作に取り組みましたので、その内容をご紹介します。

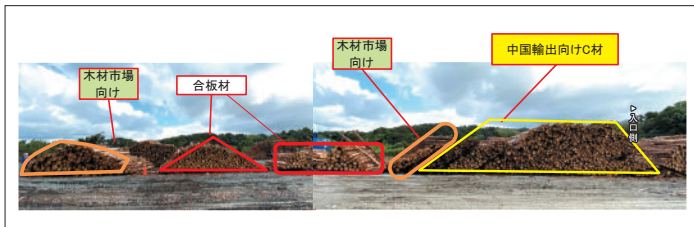
中間土場実証について

長崎県は離島半島が多く、地理的条件も不利であるため、納期や数量を確保した安定的な丸太の供給が課題となっています。中間土

場実証では、各地で伐採された丸太を、生産地と搬出先（木材市場、合板工場、海外輸出等）の間に設けた中間土場に集め、搬出先が求める規格・品質ごとに丸太を仕分けし、適材適所への販売や検知システムの活用による流通コストの削減に取り組み、中間土場の有利性について検証しました。



中間土場運搬状況



中間土場での仕分け時状況

県産ヒノキ合板の製作について

県産ヒノキ合板の製作は、長崎県の主要な生産樹種の一つであるヒノキの活用を拡大することを目的とし、これまでになかった、長崎県産ヒノキのみを材料としたコンクリート用型枠合板1,000枚を製作しました。表面加工されたコンクリート用型枠合板のJAS規格品となっており、土木・建築現場での型枠として利用できる合板に仕上がりました。

今後は使用いただいた方に品質の評価を聞きとり、県産ヒノキ合板の需要を高めていくとともに、一定規模での継続した生産に向け、川上側の連携によるヒノキ材の供給体制構築に取り組む予定です。

今後の取組

今年度も昨年に引き続き、中間土場実証、県産ヒノキ合板の需要拡大やヒノキ材供給体制構築に取り組んでいます。また、昨年度から新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、情報交換会や先進地視察等を中止せざるを得



県産ヒノキ合板（表面）



県産ヒノキJASマーク（裏面）

ない時期もありましたが、令和3年11月には今年度初めての情報交換会を対馬で開催し、12月には講師を招いたシンポジウムをWebで開催し、さらに県北地区での情報交換会を予定しています。

これらの取組により、県内におけるモデル的なサプライチェーンを構築し、他への波及を図っていくこととしています。情報交換会の結果などこれまでの取組について、長崎県SCM推進フォーラムの下記ホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください！

（林政課 森林活用班）

長崎県SCM推進フォーラム
ホームページ
<https://n-scm.jp/>

【特集記事】



地域林政アドバイザー奮闘記

地域林政アドバイザー 東彼杵郡森林組合 谷口 譲さん

この度、東彼杵郡森林組合で地域林政アドバイザーとして奮闘しておられる谷口 譲さん（66歳）にインタビューをしましたので報告します。

地域林政アドバイザーが制度化された背景には、日本の林業が抱える切実な事情があります。戦後植林されたスギやヒノキなどの人工林は成熟し、今や木材資源を活用する時代となりました。国産材の供給量は、平成30年には3,020万m³、木材自給率は36.6%でした。我が国の木材資源の充実ぶりが窺えます。

一方、我が国の森林の所有形態は、零細で分散しています。所有者不明や境界未確定の森林が数多く存在し、森林所有者の世代交代等により森林所有者の森林に対する関心が薄れ、森林の管理が適切に行われない事態が生じています。

このような状況下で平成30年には森林経営管理法が成立しました。この法律は、林業経営に適した森林を市町村のあっせんにより別の林業経営者に再委託することができるよ

うにしたことと林業経営に適さない森林を市町村が自ら管理しようとするものです。

この施策を推進していくためには、森林所有者の林業経営に対する意向確認が必要になります。地域林政アドバイザーの仕事は各林家の意向を個別に調査する必要があり、仕事は地味で苦勞も多いに違いありません。しかし森林経営管理制度の推進役として大いに期待されています。

（質問1）地域林政アドバイザーに就任された経緯をお尋ねします。

私は平成23年11月に東彼杵郡森林組合に入組し、参事を拝命のうえ勤務後、令和2年5月に定年により、65歳で参事を辞しました。

その際、森林経営管理制度が前年から始まり東彼杵郡3町はその対応に苦慮していました。私も定年とはなりましたが森林整備につきましては、まだ不十分だとの思いもあり何かお役に立てればと思っておりました。

3町も森林整備については詳しい担当者もいないこともあり、3町からの相談もあったため、県のアドバイザー認定研修会に参加し地域林政アドバイザーとなりました。

しかし、地域林政アドバイザーといいますが、私の場合は森林に関わった年数は8年足らずで且つ事務職で、かなり不安がありました。全くの手探り状態で、先行されている西海市の担当者に指導して頂いたり、森林経営管理制度のガイドブックやインターネットで他市町の進め方などを参考にしました。

(質問2) 実際にはどのようなことをなさっているのですか。

前年度に各町で※林班を設定し意向調査を開始していましたので、それを踏襲する形で進めていきました。その後、森林経営計画を策定していない林班を人工林面積や10年以内の間伐実績、森林の多面的機能などを参考にし一覧表を作成し、意向調査の優先順位表を作成しました。それを基に各町2林班意向調査を実施し集積計画を作成しました。

その間2、3か月毎に3町と会合を重ね進捗状況の確認をすり合わせています。現在は3町で58haほど集積しましたが、当初現況確認を実施しておらず、事業計画策定の段階で変更することもあり50haほどが対象になるものと思われます。今後は意向調査後、行政に委託された森林につきましては、現況調査を実施し確実な集積計画を策定したいと考えております。

※林班：市町ごとに森林を字界や尾根、谷等でブロック分けされた区割りの単位。

(質問3) 仕事を進めるうえで苦労もあったと思います。

森林所有者の方を訪ねて森林経営管理制度を説明しますと、ほとんどの方が山にはしばらく行っていない、年齢の問題もありますし、後継者の子供さんも山には全く興味がないとの回答が多いものです。

特に所有面積が少ない方やご主人を亡くされた方はお任せしますとのことでした。ま

た、すんなり回答をいただく方は少なく何度も訪ねては説明し納得いただき調査票をいただきました。所有者の方には相続手続きを取られてなく親族6名の方に同意をいただくのもありました。

(質問4) 仕事の今後の進め方をお聞きます。

今現在は先に検討した林班ごとの意向調査でいいのか見直しを図るつもりです。先の大木の被害も数多くあり、土砂災害区域や地すべり区域を調査の上、洗い出し、少ない面積でも集積を細目を実施する方向に転換することも検討しています。

森林は多面的機能があり特に人工林は人の手助けがないと健全な森林を形成できず、山林被害も多くなっていくものと思われます。特に民家の周辺の森林整備を実施することで少しでも人的被害を減らせればと思います。



3町の林務担当者と打ち合わせ

(質問5) 最後に一言お願いします。

後任の方が着実に進展させることができるように道筋を作っていくこと、これが私にできることだと考えています。

(取材を終えて)

谷口さんの円満なお人柄が森林所有者の心を開き、中身のある意向調査に結実していると感じました。谷口さんのさらなるご活躍を期待します。

(NPO 法人地域循環研究所)

林業普及だより

俺たちが新時代を伐り拓く！ 第1回ながさき伐木チャンピオンシップ(安全・伐木競技会)

はじめに

読者の皆様、新年明けましておめでとうございます。この1月で「長崎の林業」は、昭和27年（1952年）1月の発刊から70年の節目を迎えました。そのような歴史が深い長崎県の林業に新たな歴史を刻もうと、晴天に恵まれた令和3年11月27日、第1回ながさき伐木チャンピオンシップを諫早市において開催しました。当大会の世界大会（WLC）は40年以上の歴史を持ち、日本大会（JLC）は2014年から開催されています。

大会ではチェーンソーを用いて伐木と造材の精度や安全性の技術を競い合います。選手は県内の林業事業者から選抜された現場技術者、「チェーンソーマン！」。

練習会、そして本番をとおして、技術の向上と安全作業の意識向上を図りました。林業の現場では同世代や企業間で交流する機会が限られ、競技をきっかけに技術を教え合ったり、現場の悩みを話したりする姿が印象的でした。競技終了後は、JLCの出場歴を持つ、佐賀県の太良町森林組合の坂口さんと岩永さん、熊本県のくまもとロギングクラブの原田さんと高野さんの見事な技術と話術によるデモンストレーションによって大会の幕が下ろされました。



15m先の目標に向けて受口と追口を作る

結果発表

競技の結果、個人賞(総合) 1位：内山林業(同) 長野さん、同2位：長崎南部森林組合 鮎川さん、同3位：壱岐市森林組合 岡田さん、個人賞(伐倒競技) 1位：(株)長崎林業 才藤さ

ん、個人賞(丸太合せ輪切り) 1位：長崎北部森林組合 森さん、団体賞1位：壱岐市森林組合、同2位：真樹フォレスト(株)となりました。



個人総合1位の内山林業(同) 長野さん

(長野さんから一言) 2つの競技で丸太合せ輪切りが難しかったです、日頃の仕事の成果が結果に繋がったと思います。今後も怪我のないように安全第一で仕事に取り組み、また機会があれば出場できればと思います。



先に下から刃を入れて赤の範囲で合せ切り

おわりに

今回の大会は、新型コロナウイルスの感染拡大により昨年度から2回の延期を経て開催することができました。関わってこられた方々へ心からお礼申し上げます。熊本の原田さんは「第1は安全、次に品質、最後に生産性」と話されました。この大会を繰り返すことで安全技術の向上や就業環境の改善を図り、林業事業者の拡大に繋がりたいと思います。林業事業者の皆様におかれましては「安全」を何よりも優先していただき、皆様の大切な方のためにも、今年1年「ゼロ災」でいきましょう！
(林政課 普及指導班)

地方だより

小値賀町の松林保護の取組



森林ボランティア団体 姫の松原隊のみなさん

小値賀町の松林

小値賀町の松林は、町の森林面積1,099haの約3割(335ha)を占め、海に囲まれた町を潮害・風害から守る森林として住民の生活に密接に関わっています。

また姫の松原(表紙写真)をはじめ、島の美しい風致景観を形作るシンボルとして、町ぐるみで守り育てられてきました。

松枯れ被害および対策

しかしながら、平成29年から甚大な松枯れ被害(※注)が発生してしまいました。

町ではこの対策として、「松林保全対策に係る検討会」を設置し、国、県、町、有識者及び地域住民の意見を踏まえて、「松林保全計画」を策定しました。保全計画では、すべての松林の50年後を見据えてゾーニングを行い、現状の被害拡大防止対策の方針を定め対策を進めています。

現在の状況としては、集中的に被害対策を実施したことで、姫の松原をはじめとした、「守るべき松林」での被害防止効果が着実に見られている状況です。

今後、新たに松林として育てる造成事業や計画的に松以外への樹種へ転換する対策を実施していきます。

(※注：松枯れ被害とは、カミキリムシを媒介し樹体に侵入したセンチュウが原因となる松の病気のことで)

地域住民によるボランティア活動

行政による対策に加えて、令和3年2月に地域住民の有志による「姫の松原隊」という森林ボランティア団体が結成されました。「姫の松原隊」では、先祖代々大切に守り育てられてきた町のシンボルである姫の松原を後世へ残したいという活動方針のもと、松林の生育環境を整える除草活動や松葉掻きの実施、枯れ松による事故を防止するための伐木作業に取り組んでいます。

姫の松原隊の活動は、無理をせず、楽しく自分達の出来る範囲での活動を心掛けながら、町を訪れた方々の心に残る風景を後世に残す一助になればとの思いで、今後も長く継続して保全活動に取り組みたいとのことです。



姫の松原での除草作業

県としても、引き続き町民の方々々が安心して生活できるよう被害防止対策や海岸林の造成に取り組んでまいります。

(県北振興局 林業課・森林土木課)

地方だより

令和3年度 長崎県優秀工事知事表彰 田平地区緊急予防治山工事:星野建設(株)



田平地区緊急予防治山工事 完成全景

令和3年度長崎県優秀工事知事表彰において田平地区緊急予防治山工事（南島原市北有馬町）を施工された星野建設株式会社が受賞されました。

表彰理由としては、人家裏と山腹危険斜面（平均高低差13m）が接近した法面工の工事において、ドローンを活用した3次元測量をしたことで、地山の状況変化に応じた切土勾配の提案や、段階確認等における迅速な図面等の提示が実施され、効率的な施工管理を行い労働災害を発生させることなく工事を完成させたことです。

この地区は人家と斜面が接近しており、風化した砂質系の地質が特徴的で、斜面の凸凹やオーバーハングしている箇所があります。

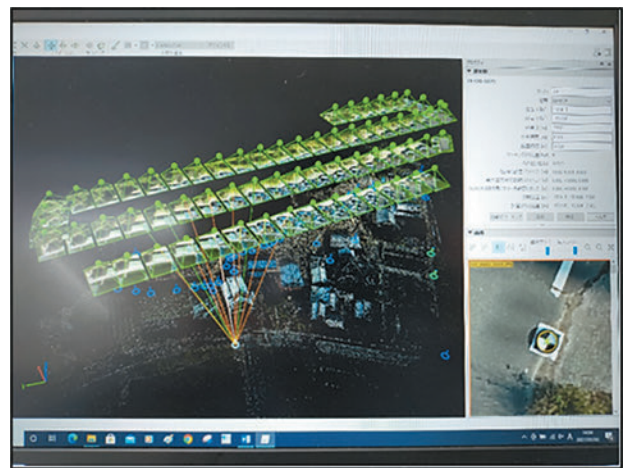
従来の測量方法では危険な現場へ命綱を利用しながら行うため、同規模の場合、8時間以上かかるものが、ドローンを利用すると8分程度で済みます。

これにより発注者に対し、タイムリーに現場状況に応じた掘削の提案や段階確認等における迅速な図面の提示が行われ、施工中の手

戻り作業もなく効率的な施工管理が出来ました。

地元からも施設が完成して安心したとの声がありました。

今後も自然災害を防止・軽減し、安全で安心して生活できる環境を整備するため、新技術や創意工夫で治山事業に取り組んでいきます。



ドローンで連続撮影した画像を
ソフトウェアで3次元データに統合

（島原振興局 林務課）

林業団体情報

「緑の雇用」事業

「森林の仕事ガイダンス」を開催しています。

- 県北地区：令和3年9月26日（日）佐世保市で開催済
- 県央地区：令和4年1月15日（土）諫早市で開催予定
[場所：高城会館（諫早市高城町5-25）11:00～16:00]

林業の仕事

林業の仕事は、植栽、下草刈り、間伐など森林の適切な管理を行い、木材資源を生産しながら、健全な森林を守る仕事です。

先人の残してくれた森林を未来に届けるために、今、森林で働く技能を有した担い手を必要としています。



令和3年9月9日に実施した上五島高校生向けのWeb説明会

緑の雇用事業

未経験者の方でも林業に就き、必要な技術を学んでもらうため、林業事業体に採用された人に対し、講習や研修を行うことでキャリアアップを支援するという制度です。研修年次に応じて研修の内容をステップアップさせ、技能を身につけられるよう、次のような体系的な研修プログラムが用意されています。

① 林業作業士（フォレストワーカー）研修

新しく林業の仕事に就く方が対象で、OJT研修や集合研修を3年間実施し、基本姿勢や基礎力を習得し、一人前の現場技能者になる能力を身につけます。

② 現場管理責任者（フォレストリーダー）研修

作業班長候補者などの方が対象で、判断力・指導力向上、現場作業管理などを学び、現場での管理・責任を担える能力を身につけます。

③ 統括現場管理責任者（フォレストマネージャー）研修

複数班の統括など現場全体の管理責任能力が必要とされる方が対象で、コミュニケーション能力向上、林業の社会的使命、企画・営業・販売などを学び、林業現場の統括管理責任を担える能力を身につけます。

森林の仕事ガイダンス

新たな林業の担い手の確保・育成を目的に、森林・林業に関心を持つ方を対象に実施する相談会です（就職の斡旋は行いません）。

会場には、林業労働力確保支援センターや森林組合等の事業体が相談ブースを設け、県内各地の林業に関する情報、仕事内容の紹介、新規就業するための流れや林業従事者として長く活躍するためのキャリア・サポートなどご案内しますので、来場者は自分が興味を持つブースを回り自由に相談できます。

「緑の雇用」事業により、全国で平成15年度から令和元年度まで約2万人の新規林業就業者が誕生しています。

多くの方の参加をお待ちしています。



本年のガイダンスの様子（県北地区）

（長崎県森林組合連合会）

センターだより

春の七草 ～古き良き風習と山の恵～

新年あけましておめでとうございます。

お正月はいかがお過ごしでしたでしょうか？皆様、七草粥は食べられましたか？1月7日は七草の日（人日の節句）です。昔から七草の日には、年末年始やお正月を終えて、胃や身体をいたわるために七草粥を食べ、無病息災と長寿健康を願う風習があります。

春の七草には山菜も含まれています。

失われつつある古き良き風習を取り入れるとともに、山の恵を改めて感じてもらえるよう、今回は春の七草についてご紹介します。



春の七草

七草粥に使われる春の七草とは、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ（カブ）、スズシロ（ダイコン）のことで、地方によって差があるようですが、食用になる7種類の野草や野菜です。七草をすべて合わせると、約12種類の薬膳効果があり、含まれるビタミン・ミネラルは約7種類あるそうです。

○セリ

シロネグサとも呼ばれるセリ科の植物です。競り合うように生えていることからこの名が付き、「競り勝つ」という意味をかけて縁起物とされている食材です。

栄養価が高く、血液をきれいに保ち、高血圧や動脈硬化の抑制にも作用し、整腸効果も持っています。

○ナズナ

ぺんぺん草とも呼ばれるアブラナ科の植物です。「なでて汚れをはらう」とされる縁起のいい食材です。

古くから民間療法で用いられてきた植物でもあり、高血圧、解熱、便秘、利尿、止血作用に効果があるとされています。

○ゴギョウ

ハハコグサとも呼ばれるキク科の植物です。「仏体」を表す縁起物とされています。

茶にして飲むこともあり、咳止め、痰きり、喉の炎症、利尿、むくみに効果があるとされています。

○ハコベラ

はこべとも呼ばれるナデシコ科の植物です。「繁栄がはびこる」として、縁起物とされています。

中国では古くから薬草として使われており、効能は七草の中でも多く、利尿作用、止血作用、鎮痛作用をはじめ、歯槽膿漏の予防薬として使用されてきた歴史があります。

○ホトケノザ

正式名をコオニタビラコといい、キク科の植物です。仏様の座る蓮華座のように見えることから名前が付き、縁起物とされています。

効能として、健胃・整腸作用、高血圧予防などがあるとされています。

○スズナ（カブ）

スズナは、「神を呼ぶ鈴」として縁起物とされてきました。カブは、便秘、胃かいよう、胃炎、風邪などに効果があると言われていました。

○スズシロ（ダイコン）

その根は、「汚れのない純白さ」を表しており、スズシロと呼ばれるようになりました。消化不良、二日酔い、発熱、冷え性などに効果があると言われています。

おわりに

七草は、それぞれ高い栄養が含まれ、先人の知恵が詰まった食材です。コロナ禍と正月休みで食べすぎ気味の方に、苦みのきいた七草は元気を与えてくれます。

（農林技術開発センター）

紹介コーナー

株式会社 agrume (アグリユーム)



アグリユームの
オリーブの木で作られた木工品

優しい色合いと木目の美しい木工品たち。思わず手に取りたくなるこちらの小物は全てオリーブの木で作られています。長与町にある「株式会社 agrume」（以下アグリユーム）は100%長崎産の搾りたてオリーブオイルを製造販売する会社です。

創業者で現在会長を務める濱口格はまぐち かくさんは平成14年に荒廃したみかん畑を開拓しオリーブの木を植樹しました。日当たりが良く潮風が当たる長与町の気候は地中海地方によく似ているそう。みかんが育つ条件がオリーブの発育にも適していたのです。本場イタリアで栽培方法を学び、現在700本程を栽培しています。

モクセイ科の常緑樹であるオリーブは世界

中に1600種類程あり、そのうち日本には60種類程、アグリユームでは8種類を栽培しており2019年から3年連続で国際オリーブオイルコンテスト入賞を果たしました。

発育の良いオリーブの木は1年で1m以上育つためこまめな剪定が必要です。そこで伐った木を利用し地域に貢献したいと考えられたのが「ふるさと納税」の返礼品。木目が美しい姿をそのままコースターにしました。地元で育てたオリーブの木の魅力を伝えるためコースター以外も考案中だそう。丁寧に磨き上げられた珍しいオリーブの木工品に触れてみませんか。（NPO 法人地域循環研究所）



左：オリーブ畑 右：銀賞受賞のオリーブオイル

株式会社 agrume (アグリユーム)

住所：西彼杵郡長与町岡郷 614-12
TEL/FAX：095-887-2939

伊万里木材市況

【ヒノキ】

令和3年 12月現在

| 長さ | 径級 cm | 等級 | 高値 (円/m ³) | 現在出荷量 | 現在引合 | 需要見通 |
|----|-------|-------|------------------------|-------|------|------|
| 4m | 16~18 | 直 | 27,500 | 普通 | 多い | 多い |
| | 16~18 | 小曲り | 25,900 | 普通 | 多い | 多い |
| | 20~22 | 直 | 24,300 | 普通 | 多い | 多い |
| | 20~22 | 小曲り | 23,300 | 普通 | 多い | 多い |
| | 24~28 | 直・小曲り | 23,000 | 少ない | 多い | 多い |

【スギ】

令和3年 12月現在

| 長さ | 径級 cm | 等級 | 高値 (円/m ³) | 現在出荷量 | 現在引合 | 需要見通 |
|----|-------|-----|------------------------|-------|------|------|
| 4m | 18~22 | 直 | 16,000 | 普通 | 多い | 多い |
| | 16~22 | 小曲り | 14,000 | 普通 | 多い | 多い |
| | 24~28 | 直 | 16,000 | 普通 | 多い | 多い |
| | 24~28 | 小曲り | 14,000 | 普通 | 多い | 多い |

※情報・お問い合わせは、伊万里木材市場 電話 0955-20-2183 まで

長崎の山と森

こくぞうさん
虚空蔵山 (東彼杵町・川棚町) 608.5 m

川棚町から見た虚空蔵山



虚空蔵山の森林環境

虚空蔵山は東彼杵町、川棚町及び佐賀県嬉野市に跨っています。この山を川棚町岩屋郷から望むと三角形に尖っておりますが、東彼杵町側から眺めると凸型で印象が異なります。「九州のマッターホルン」ともいわれています。地元では「こくんぞう」と呼ぶ人もいます。

岩屋口から登り始めると「川棚町悠久の森」の案内板が目飛び込んできます。悠久の森は平成2年に川棚町条例で指定されました。条例では町有林を町民の永久の財産と位置づけ、現在約50haの森林が指定されています。岩屋口の森林には樹高が20m以上のスギやヒノキが整備されています。また、これらの森林の下木として、シャクナゲが平成10年度(1998年)と11年度(1999年)に植栽されました。4月下旬になると開花して登山者を和ませてくれます。

岩屋口の登山道を20分ほど歩くと稜線にぶつかり森林の様子も今までの人工林から自然林に変化します。スタジイ、ヤブニッケイ、シキミ、ヒサカキ、アカガシ、アカメガシワ、アオキ、シキミ及びハイノキなど登山者の好奇心をくすぐります。稜線の登山道に沿って階段、手すり及び岩場の難所にはロープやチェーンなどが要所に整備され、登山者

の安全を図っています。登山道にはゴミもなく快適です。

頂上に到達すると視界が開け広場の片隅に愛宕神社の境内地があります。虚空蔵仏はこの神社の中の一体として鎮座されています。頂上のちょっとした広場は縦長に伸び、強風で矮小化したヒサカキが広場を囲んでいます。アカシデの樹名板も見かけました。頂上からは大村市、西彼杵半島、大崎半島、佐世保市、平戸島まで風景を楽しむことができます。

虚空蔵山の自然環境は、森林法の保安林制度に基づき、水源かん養や土砂流出防備保安林が山の周りに配備されていることやながさき水源の森として木場水源の森、岩屋水源の森及び中ノ川内水源の森なども認定されています。また、県自然環境保全地域が一帯に指定されています。このような各種の規制によって自然環境は大切に守られています。

(NPO 法人地域循環研究所)

長崎の林業 1月号 第796号
編集・発行 長崎県林政課
住所：長崎県長崎市尾上町3番1号
電話：095-895-2990
ファクシミリ：095-895-2596
メールアドレス：
s07090@pref.nagasaki.lg.jp